

行財政改革の取り組み状況をお知らせします

集中改革プラン

町では、平成18年2月に「大津町行財政改革大綱」を策定しました。さらに、この大綱を基に、具体的取り組みをまとめた平成21年度までを推進期間とする「集中改革プラン」を策定し、現在その計画を実行中です。今回は、その進行状況の一部をお知らせします。まちづくりを推進していくためには、財源の確保が必要不可欠です。今後も、住民サービスの向上と経費の節減を図るため、引き続き行財政改革に取り組んでいきます。

最近の主な改革の取り組み

組織や事務事業などの見直し

- 新たな「補助金交付基準に関する要綱」を定め、町補助金の見直しを実施。
- 振興総合計画等評価委員会による施策の外部評価を実施。
- 人材育成基本方針を策定。また、人事評価制度の見直しを実施。

民間委託の推進

- 農村関連レクリエーション施設(岩戸の里)の指定管理者を一般公募により指定し、平成21年度から新たな指定管理者による運営を開始。
- 老人ホームなど公の施設の民営化や指定管理者制度導入などの検討作業を進めた。

定員管理の適正化

- 集中改革プランに基づき、計画期間の5年間で正職員を212人から200人に削減(平成21年4月1日現在の職員数202人)。

職員手当などの適正化

- 平成20年度をもって、下水道業務特殊勤務手当を廃止(プランに掲げた各種手当関係は全て廃止となった)。

第三セクターの適正化

- 「岩戸の里」の指定管理者であった町振興公社は、経営悪化などの理由で指定管理者の公募には参加せず、平成21年6月に解散。

改革実施状況(項目数)

73の改革項目の進行状況は下表のとおりです。平成21年度上期を終了した時点で25項目が完了し、現在実施中のものや準備中のもの(検討が済んだもの)などが63項目あり、これらを併せると約86%が何らかの取り組みができていくことになります。このほか10項目は未だ検討中の状態となっています。

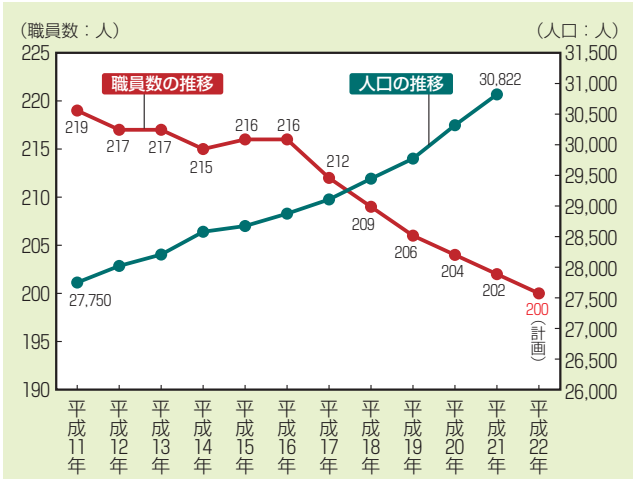
項目	完了した もの	実施中の もの	実施準備中 のもの	検討中の もの	既に検討が 済んだもの	合計
事務事業の再編・整理、 廃止・統合	2	5	0	0	1	8
民間委託の推進	9	2	9	9	3	32
定員管理の適正化	0	1	0	0	0	1
手当の総点検をはじめと する給与の適正化	4	0	0	0	0	4
第三セクターの適正化	1	0	2	0	1	4
経費削減などの財政効果	9	14	0	1	0	24
合計	25	22	11	10	5	73

自主財源の確保や経費削減

- 職員数の適正化による人件費の削減。
- 国に準じて、職員の給料及び期末・勤労手当を引き下げ。
- 町税や国民健康保険税をはじめ、保育料、下水道使用料、町営住宅使用料などの徴収対策を強化。
- 町ホームページへの有料広告の導入。

この他にも、集中改革プランに基づく73の改革項目の取り組みを行っています。

町職員数の推移



(注) 職員数は毎年4月1日現在、人口は10月1日現在の推計人口による。

◎集中改革プランの詳しい内容や進行状況は町のホームページでも公開しています。



ご意見、お問い合わせは
役場企画課行革推進係
☎(293)3118

副町長退任のごあいさつ 前副町長 宇野 博明

わたしは、昨年12月21日をもって、副町長の任期を満了しました。こうして任期を無事に全うし、誇れる郷土のまちづくりには、幾らかなりと職責を果たせたのも、皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

就任した当時は構造改革が叫ばれ、三位一体の改革で地方を取り巻く環境は厳しい状況でした。その様な中、大津町は家入町長のもと、振興総合計画を策定し、まちづくりを着実に進めました。『ことしのまちのしごと』による予

算の分りやすい説明や、まちづくりの基本条例の制定など、開かれた行政のあり方にも積極的に取り組みました。そのほか地域づくり活動の支援など、様々な取り組みによって、4年連続で普通交付税不交付団体になるような、「元氣・大津」が実現できましたことを誇らしく思います。



力で、必ずや町が発展し続けていくことを心より祈念します。今後は町民の皆様と同じ立場で大津町を支えていくことを誓いまして、退任のごあいさつとします。ありがとうございました。

教育長退任のごあいさつ 前教育長 宮崎 廣行

わたしは、1月11日をもって、教育長としての任期を満了しました。

平成18年1月12日に辞令を受け4年間、職務を全うできましたのも、各学校の先生はもとより、保護者の皆様、そして地域の皆様の深いご理解と、温かいご協力のたまものであります。本当にありがとうございました。

就任した第1回の教育委員会、共通理解したことは、現在、大津町の教育にも、いじめや不登校など、様々な問題がある。しかし、学校は勉強

「子どもは町の宝だ」と考える町長の思いを、教育関係者、家庭、地域社会が実現させた証であると思います。今後の大津町の発展と、町の教育の更なる発展を願います。お世話になりました。



「子どもは町の宝だ」と考える町長の思いを、教育関係者、家庭、地域社会が実現させた証であると思います。今後の大津町の発展と、町の教育の更なる発展を願います。お世話になりました。

教育長就任のごあいさつ 教育長 那須 雪子

図らずも1月12日に、教育長に選任されました。職責の重さを思うと身の震えを覚えますが、場をいただきまして、感謝しながら、教育行政の更なる充実発展の為に全力を傾注する覚悟です。

教育行政の推進に当たっては、現状を的確に把握したうえで、「子どもを誇れる、文化の薫り高い、それが夢を持ち、夢を育める町」を目指したいと考えています。特に、次代を担う子どもは、家庭・学校・地域・町の宝です。それ故、子どもの教育充実が、最重要課題であると受け止めています。

しかし、学校一極での学方向上・体力向上・豊かな心の育成はあり得ません。そこで、学校が中心になりながら家庭や地域と一体となって知恵を出し合い、汗をかき合い、活動を通して喜びを分かち合う教育の構築が必要になります。そのための条件整備に努めたいと思います。

また、生涯学習社会においては、自ら学ぶ意欲と自らを生かす場の確保が、心身の元気を左右します。文化・スポーツ面でも多くの皆様が、楽しみに参加される環境づくりに努めたいと思います。

町民の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。就任のごあいさつとします。

